

民国連携による地域に根ざした木育活動

～木の良さを感じてほしい～

上川中部森林管理署 森林整備官 佐々木 真理子
上川総合振興局 林務課 主任 畠 義博

取組の背景

木材産業等が盛んな旭川地域は、「木の町あさひかわ」と言われていますが、近年、市民には馴染みの薄い言葉となっており、子供たち等にとっても木や森林に触れあう機会が減っています。

取組の目的・経過・内容

「木の町あさひかわ」を広く知っていただくとともに、子供たち等に木の良さや森づくりの大切さを伝えるため、地域の行政（北海道森林管理局、上川総合振興局、旭川市）、林業関係団体、学識経験者が連携を図り、「「木の町あさひかわ」木育を進める会」を発足させ、活動した内容について、上川中部森林管理署と上川総合振興局との人事交流の立場から携わったことや感じたことも交えて報告します。

平成 25 年度

クリスマスツリー展示



間伐木の梢をサンタに扮した職員が、保育園等に配付展示。(27 施設)

【ステキ！・来年も持ってきて～！】

拡充

平成 26 年度

クリスマスツリー展示



昨年の継続で、間伐木の梢をサンタに扮した職員が、保育園等に配付展示。(41 施設)

【チクチクする・いいにおい・ベトベト？】

木のプール、木製遊具の貸出



子どもたちに、木製品とふれあう機会を一定期間提供。(16 施設)

【まだ遊びたい！・持っていかないで～！】

将来は自分達が！！



森林管理署と総合振興局の若手職員同士の交流により横の連携を図った。(17 名参加)

【お互いの組織の業務について、興味津々】

更なる展開

森林・林業体験会



保育士等を対象に国有林で野外活動を体験する機会を提供。(11 名参加)

【初めての体験にドキドキ・でも楽しい！】

木育講座



保育士へ、木育マイスターによる木育プログラムの習得する機会を提供(4 施設)

【自分の木を見つけ、1 年間の観察等を通じて、ふれあって欲しい】

今後の展開

今年度は、関係機関・団体が連携したことから、間伐材等を利用したクリスマスツリーを 41 施設で展示できるとともに、展示後はバイオマス燃料として利用されました。今後、より一層、各種の木育活動を推進するとともに、木材関係団体等とも連携を図り、地域での木材利用推進につながるよう取り組みます。

～メモ～